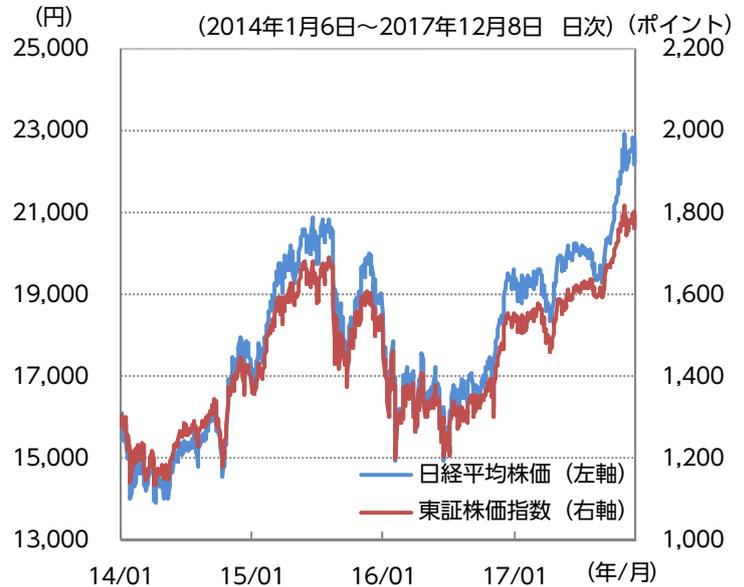




(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

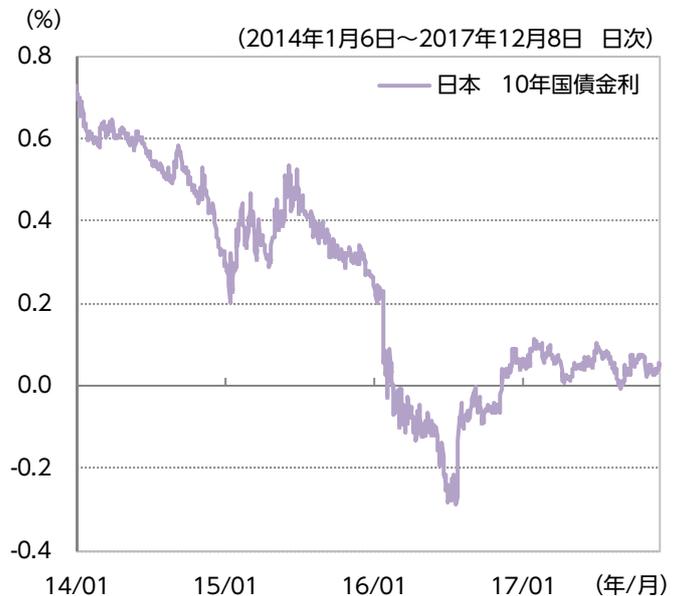
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。イスラエルの首都をめぐる中東情勢への懸念や、米国市場において半導体関連株の下げが目立ったこと等を背景に週初から3日続落となりました。週末は、米ハイテク株の上昇や円相場の下落が好感され、大幅に続伸となったものの、週間では小幅に下落となりました。（週末引け値：22,811.08円）
- 週間では、日経平均株価は0.03%の下落、東証株価指数0.40%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。米税制改革の進展期待から米金利が上昇したことを背景に、週初は上昇してスタートしました。週末は、財務省が実施した30年債入札で需要の強さが確認されたこと等を受けて、低下基調となりました（価格は上昇）。（週末引け値：0.053%）
- 週間では、0.018%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。上院での税制改革案可決や、原油価格の下落等を受けて週を通じて一進一退の展開となりました。週末は堅調な米雇用統計を受け、米景気の拡大期待が強まったことから上昇し、史上最高値を更新しました。（週末引け値：24,329.16ドル）
- 週間ではNYダウは0.40%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週初は、米税制改革法案を巡り、上院と下院との一本化が難航するとの見方などから、もみ合いとなりました。週中は、イスラエルの首都をめぐる中東情勢への懸念等から、投資家のリスク選好姿勢が高まり円高米ドル安が進行したものの、週末は日米の金利差の拡大観測から、円売り米ドル買いが優勢となりました。（週末引け値：113円45銭～55銭）
- 週間では米ドル/円は1.17%の円安、ユーロ/円は0.10%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。